

第 30 回 日本免疫毒性学会学術年会

各種協賛趣意書

第 30 回 日本免疫毒性学会学術年会 寄付・広告担当

日本免疫毒性学会副理事長 小島 弘幸

(北海道医療大学)

ご挨拶

謹啓 時下、貴社におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より日本免疫毒性学会の活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、第30回日本免疫毒性学会学術年会在、2023年9月11日(月)～13日(水)に、Shimadzu Tokyo Innovation Plaza および川崎生命科学・環境研究センター(川崎市)において開催される運びとなりました。本学会は、免疫毒性に特化して、毒性学、衛生学、獣医学、薬学などを専門とする基礎研究者を中心とする学会で、毎年1回開かれる学術年会在において専門家が一堂に会し、議論を行っております(コロナ禍の第27及び28回はweb開催)。1994年に開催された前身の免疫毒性研究会の第1回大会から数えて、今年は記念すべき第30回を迎えます。

第30回学術年会在においては、「社会に求められる新たな免疫毒性研究」をテーマに掲げます。シンポジウムでは、新規モダリティ医薬品・ワクチン開発における免疫毒性について討論を行い、これに連動し、特別講演でSCARDAにおけるワクチン開発の取り組みをご紹介します。もう一つの特別講演では、例年通り米国毒性学会(Society of Toxicology)からの招待演者による講演を予定しています。教育講演では、命に関わる重篤な副作用である重症薬疹の発症メカニズムに関する講演を予定しています。また、試験法ワークショップでは、「ヒト免疫系を模した評価モデルの現状と将来展望」というテーマで4名の講演者を交えた総合討論も予定しております。また例年のごとく、免疫毒性に関係する一般演題の他、学会賞及び奨励賞受賞講演を行い、年会賞、学生・若手優秀発表賞を設け、研究活動の活性化を図りたいと考えております。さらに、今年独自の取り組みとして、第30回記念行事として歴代理事長による講演をいただく他、3日目午前に非学会員も無料で参加できる環境化学物質による免疫毒性リスク評価に関する公開シンポジウムを開催する予定です。

本学会は、約200名の会員から構成されていますが、学術年会在には例年140名ほどの参加者があり、中でも一般の発表枠の約4割を若手研究者が占めるなど、若手研究者の積極的な参画が大きな特徴となっています。その若手育成の観点から、可能な限り口頭発表の機会を与えるなど、本学会には若手研究者の成長の機会が充実しているという伝統があり、本年もこの特長を引き継いでまいりたいと考えています。ぜひ、ご理解とご協力を賜れますと幸いです。

謹言

令和5年2月吉日

第30回日本免疫毒性学会学術年会在

年会長 中村 亮介

(国立医薬品食品衛生研究所)



お願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より日本免疫毒性学会の活動に対し、一方ならぬご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

本学術年会の運営につきましては、できるだけ簡素でしかも内容が充実したものであることを旨としておりますが、参加者からの参加費だけでは賄いきれないのが現状でございます。諸費ご多端の折、誠に恐縮に存じますが、本学術年会を実り多きものにするため、特別のご支援ご助力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

本年は、幕間映写時の広告や、年会ホームページへのバナー広告の掲載など、新しい試みを考えております。ぜひご応募いただけますと幸いに存じます。

末筆ながら、貴社の益々のご繁栄を祈念しております。

謹白

令和5年2月吉日

第30回日本免疫毒性学会学術年会 寄付・広告担当委員

日本免疫毒性学会副理事長 小島 弘幸

(北海道医療大学)



I. 開催概要

- 名 称 第 30 回日本免疫毒性学会学術年会
- 年 会 長 中村 亮介（国立医薬品食品衛生研究所）
- 主 催 日本免疫毒性学会
- 共 催 日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会
- 協 賛 日本衛生学会、日本食品衛生学会、日本毒性学会、日本毒性病理学会、日本薬学会
（五十音順）
- 後 援 日本アレルギー学会
- 会 期 2023 年 9 月 11 日（月）～9 月 13 日（水）
- 会 場 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40
<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tonomachi.html>
川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）
〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-13
<https://kawasaki-lise.jp/access.php>
- 参加予定者 約 150 名

- テーマ 社会に求められる新たな免疫毒性研究

■大会の主な内容

9 月 1 1 日（月）会場：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza

・第 30 回記念講演

免疫毒性学の継往開来（けいおうかいらい）

Immunotoxicology: Honor the Past and Build the Future

1. 免疫毒性学の黎明期 ～毒性発現標的としての免疫機構と環境因子による免疫変容～

The dawn of immunotoxicology – Immune system as target organ of toxicity and immunomodulation by environmental factors –

吉田 貴彦 先生（第 4 代理事長）

2. ICH S8 ガイドラインの意義と新たな課題

Significance of ICH S8 guideline and emerging issues thereafter

中村 和市 先生（第 5 代理事長）

・特別講演 1

日本におけるワクチン開発：SCARDA の取り組み

Vaccine R & D in Japan: SCARDA initiative

古賀 淳一 (AMED 先進的研究開発戦略センター (SCARDA) プロボスト)

・ シンポジウム

新規モダリティ医薬品・ワクチン開発における免疫毒性

Immunotoxicity in the R & D of New Modality Drugs and Vaccines

1. イントロダクション

Introduction

石井 明子 先生 (国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部)

2. AAV ベクター製品の免疫毒性評価の課題

Challenges in immunotoxicity evaluation for AAV vector products

松村 匠悟 先生 (アステラス製薬 開発研究)

3. CAR-T 細胞製品の非臨床評価～免疫毒性を中心に～

Non-clinical evaluation of CAR-T cell therapy, from the view of immunotoxicology

藤原 由佳理 先生 (ノバルティスファーマ 探索開発部)

4. 核酸医薬品の免疫毒性

Immunotoxicity of oligonucleotide therapeutics

永山 裕子 先生 (エーザイ株式会社 バイオフィーマシューティカル・アセスメント機能ユニット)

5. 新規モダリティワクチンの理解に必要な免疫研究

Immunological studies for understanding new modality of vaccines

高橋 宜聖 先生 (国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター)

－総合討論－

9月12日(火) 会場: Shimadzu Tokyo Innovation Plaza

・ 特別講演 2

米国毒性学会 (SOT) 招待演者によるオンライン特別講演 (演題未定)

Kristina E. Howard 先生 (Research Veterinary Medical Officer, US Food and Drug Administration)

・ 学会賞受賞講演

生殖免疫毒性という新たな概念の確立

Establishment of a new concept “reproductive immunotoxicity” in immunotoxicology

中村和市 先生 (北里大学獣医学部 (研究がなされた機関))

・ 学会奨励賞受賞講演

金属アレルギーの発症メカニズムと予防・治療法に関する研究

Immunological mechanisms of metal allergy and its prevention and treatment

黒石智誠 先生 (東北大学大学院歯学研究科 口腔分子制御学分野)

・ 教育講演

重症薬疹における細胞死メカニズム

Cell death mechanism in severe drug eruptions

阿部 理一郎 先生 (新潟大学大学院・教授)

・ 試験法ワークショップ

ヒト免疫系を模した評価モデルの現状と将来展望

Animal Models and the Alternatives Reflect Human Immune Responses: Current Status and Future Prospects

1. HLA トランスジェニックマウスを活用した薬物毒性研究の現状と展望
Current status and prospect of drug toxicity assessment using HLA transgenic mice
青木 重樹 先生 (千葉大学大学院薬学研究院 生物薬剤学研究室)
 2. ヒト化マウスやゲノミクス技術を用いたワクチンアジュバントの安全性評価
Immunogenicity and toxicity evaluation system of vaccine adjuvant using genomics technology and humanized mouse model
佐々木 永太 先生 (国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター)
 3. ヒト型人工リンパ節様免疫オルガノイドの構築とその免疫機能
渡邊 武 先生 (京都大学医生物学研究所 再生免疫学)
Construction of the human-type functional lymphoid tissues/organoids and their immunological function
 4. 老化促進モデルマウス (SAM) の老化病態に関わる免疫学的特徴
～高齢者免疫毒性評価モデルとしての意義～
Immunological characteristics related to age-associated pathogenesis in senescence-accelerated mouse (SAM): Significance as a model for evaluating immunotoxicity in elderly people
西村 泰光 先生 (川崎医科大学 衛生学)
- －総合討論－

9月11日、12日両日

- ・一般/若手演題 (口頭、ポスター)
- ・ランチョンセミナー (9/11 : Shimadzu Tokyo Innovation Plaza、9/12 : LiSE)

9月13日 (水) 会場 : 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE)

- ・公開シンポジウム (要登録、参加費無料)
- (後援 : 国立環境研究所)

環境中化学物質の免疫毒性リスク評価

Immunotoxicity Risk Assessment for Chemicals in the Environment

1. 環境から曝露される化学物質の健康リスク評価
Health risk assessment of chemical substances contaminated in the environment
青木 康展 先生 (国立環境研究所名誉研究員)
2. 医薬部外品及び食品中化学物質のリスク評価
Risk assessment of quasi-drugs and chemical substances in food
手島 玲子 先生 (岡山理科大学 獣医学部)
3. 疫学研究からみた化学物質とアレルギー疾患の関係
Chemical exposures and allergic diseases from epidemiological studies
山本 貴和子 先生 (国立成育医療研究センター アレルギーセンター、
国立成育医療研究センター 研究所エコチル調査研究部)
4. 免疫毒性に基づく化学物質の健康有害性とリスク評価
Health hazards and risk assessment of chemicals based on immunotoxicity
小池 英子 先生 (国立環境研究所 環境リスク・健康領域)

－総合討論－

■組織委員

中村亮介	(国立医薬品食品衛生研究所)	組織委員長
小島弘幸	(北海道医療大学)	寄付・広告担当
小池英子	(国立環境研究所)	公開シンポジウム担当
西村泰光	(川崎医科大学)	学会連携担当
石井明子	(国立医薬品食品衛生研究所)	シンポジウム担当
小川久美子	(国立医薬品食品衛生研究所)	プログラム担当
田中庸一	(国立医薬品食品衛生研究所)	総務担当

■事務局

第30回日本免疫毒性学会学術年会事務局

〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26

国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部

年会長 中村亮介

事務局長 田中庸一

TEL : 044-270-6626 FAX : 044-270-6627

E-mail : jsit2023@nihs.go.jp

年会ホームページ : <https://www.jsit2023.jp>

II. 収支計画書

収入の部

項目	予算額	備考（積算基礎等）
参加費	1,130,000 円	@ 7,000 円×70 人（事前会員） @ 3,000 円×10 人（事前学生会員） @ 9,000 円×20 人（事前非会員） @ 9,000 円×30 人（当日会員） @ 5,000 円×10 人（当日学生会員） @11,000 円×10 人（当日非会員）
学会本部補助金	600,000 円	
助成金		
共催費	50,000 円	日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会
広告収入	350,000 円	10 社
企業出展料	300,000 円	@50,000 円×6 社
共催セミナー開催費	230,000 円	1 社
寄付金	250,000 円	5 社
その他		
合計	2,910,000 円	

支出の部

項目	予定額	備考（積算基礎等）
運営委託費	1,000,000 円	ホームページ、演題登録、事前参加登録など
共催セミナー開催費	230,000 円	会場費、弁当代
講師旅費、謝金	420,000 円	座長謝金含む
SOT 派遣者謝金	100,000 円	謝金
ポスター、チラシ等印刷費用	400,000 円	抄録集、ポスター、チラシ等作成費用
会議費	90,000 円	理事会、各種委員会等
会場設営費	280,000 円	
交通費	90,000 円	マイクロバス代
人件費	60,000 円	アルバイト代（6,000 円×10 名のべ）
雑費	240,000 円	
合計	2,910,000 円	

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 寄付金募集要項

1. 寄付の目的 : 第 30 回日本免疫毒性学会学術年会の開催資金
2. 寄付金の使途 : 第 30 回日本免疫毒性学会学術年会の準備及び運営費用の一部に充当します。
3. 寄付の金額 : 一口 5 万円 (個別のご相談も承ります)
4. 寄付目標額 : 250,000 円
5. 募集期間 : 2023 年 2 月 17 日 (金) より 2023 年 9 月 29 日 (金) まで (予定)
6. 税法上の取扱 : 寄付に対する免税措置はございません。予めご了承ください。

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 講演抄録集広告募集要項

1. 誌名 第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 プログラム・抄録集
2. 規格・印刷部数 A4、200 部
3. 配布対象 学会参加者、会員他
4. 媒体作成費 ￥346,000- (概算)
5. 広告料総額 ￥305,000- (税別、目標 ￥130,000-) 例年 10 社程度
6. 依頼社数 30 社程度
7. 広告料内訳

2023 年 7 月 21 日(金)
までに原稿必着

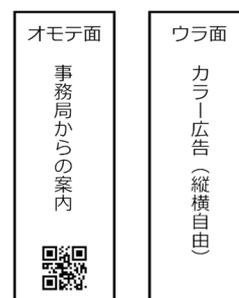
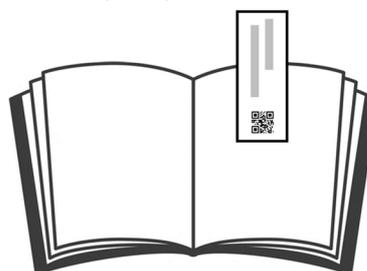
掲載頁		単価 (税別)	仕様	募集社数
裏表紙	1 頁	￥40,000	カラー	1 社
表紙裏	1 頁	￥30,000	カラー	1 社
裏表紙裏	1 頁	￥25,000	カラー	1 社
後付	1 頁	￥20,000	白黒	4 社
後付	1/2 頁	￥10,000	白黒	8 社
綴込み	1 枚	￥50,000	カラー	1 社

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 ホームページバナー広告募集要項

1. 掲載期間 データ到着～2025 年 1 月末 (予定、年会 HP オープン期間中)
2. 媒体作成費 ￥200,000 (概算)
3. 広告料総額 ￥150,000 (税別、目標 ￥90,000-)
4. 広告掲載料 ￥30,000
5. バナー仕様 サイズ：W248px×H83px、形式：GIF、アニメーション GIF、JPEG、PNG
6. 募集数 5 社 (申し込み多数の場合は、枠を増やす可能性がございます)

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 しおり広告募集要項

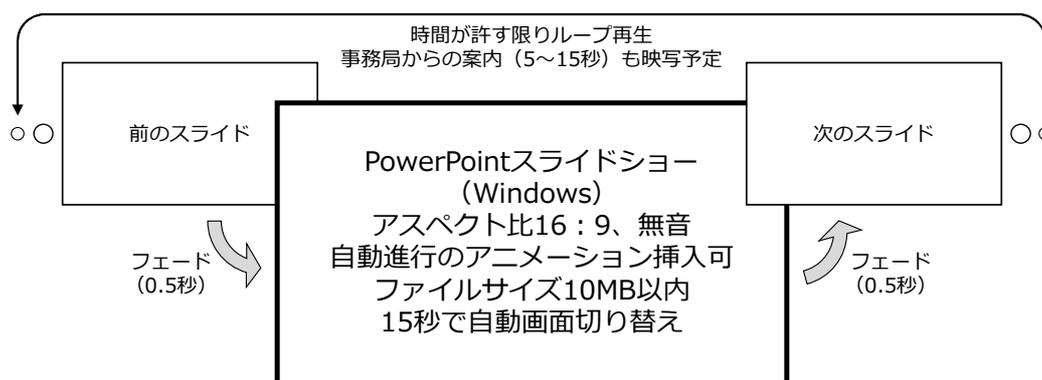
1. 規格・印刷部数 148mm×50mm、300 部
2. 広告料総額 ￥50,000 (税別、目標 ￥50,000-)
3. 広告掲載料 ￥50,000
4. 広告仕様 オモテ面：事務局からの案内、ウラ面：広告 (カラーオフセット印刷)
5. 配布方法 要旨集等に同梱または年会会場で手渡し (予定)
6. 募集数 1 社



148mm × 50mm

第30回日本免疫毒性学会学術年会 幕間映写広告募集要項

1. 幕間映写 9/11：5回、9/12：4回（予定。進行上の都合により変更の可能性がございます。）
2. 映写場所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 4階メインホール等
3. 広告料総額 ¥400,000（税別、目標 ¥80,000-）
4. 広告掲載料 企業展示出展者：¥10,000、その他：¥40,000
5. 広告仕様 PowerPoint（Windows）、アスペクト比16：9、無音、15秒間、自動画面切り替え。
事務局からの連絡事項等（5～15秒）とともに休憩時間の間ループ再生します。
特殊なフォントは埋め込みまたはアウトライン化をお願いいたします。
6. 募集数 8社



広告募集における共通事項

1. 申込方法 所定の申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局あてにお申し込み下さい。
2. 申込期日 2023年2月17日（金）より **2023年7月21日（金）**まで（予定）※
※申込期限前に募集数に達した場合は、お申し込みを締め切ることがございますので、あらかじめご了承ください。講演抄録集広告のみ、2023年7月10日（月）にて締め切らせていただく予定です。
3. 版下送付 第30回日本免疫学会学術年会事務局宛

2023年6月26日

バナー広告、しおり広告、幕間映写広告につきましては、2023年8月1日（火）までお申込み期間を延長いたしました。

2023年7月18日

上述の通り、先日バナー広告、しおり広告、幕間映写広告についてお申込み期間を延長いたしました。他の媒体のお申込み数との調整のため、2023年7月21日（金）までと再調整させていただきました。申し訳ございません。講演抄録集広告にお申込みの方も 2023年7月21日（金）までに原稿必着とさせていただきます。

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 共催セミナー募集要項

1. セミナー種類・共催費

共催セミナー募集の詳細は以下の通りです。総額は¥230,000、目標同額です。

なお、9月11日（月）は、年会会場となる Shimadzu Tokyo Innovation Plaza において、島津製作所様のランチョンセミナーを実施予定です。

セミナー	開催日	会場	予定席数	共催費用（税別）
ランチョン セミナー	9月12日（火）	川崎生命科学・環境研究センター （LiSE）	150	¥230,000

2. 費用について

◇共催費用に含まれるもの

会場費、音響、照明設備使用料、発表用機材及び備品使用料、お弁当代（参加者用・講師用）、学術年会参加証2名分

（会場設備：正面スクリーン1面、液晶プロジェクター1台、レーザーポインタ、映像機器など）

◇共催費用に含まれないもの

看板費（会場前・控室前・氏名掲示含む）、運営人件費、ビデオなど、控室における飲食費、座長及び演者にかかる謝金・旅費などの諸経費、チラシなどの制作費用

3. 共催セミナー内容

◇テーマ、演題、座長、演者の選出につきましては、できるだけご提案の内容を尊重いたしますが、9月11日の島津製作所様の内容と重複している場合は調整をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

◇会場となる川崎生命科学・環境研究センター（LiSE）は、年会本体の会場である Shimadzu Tokyo Innovation Plaza に隣接し、徒歩5分です。

4. 申込方法

所定の申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局宛にお申し込み下さい。

5. 申込書送付先

第30回日本免疫学会学術年会事務局宛

6. 申込期限

2023年2月17日（金）より2023年7月10日（月）まで（予定）

※申込期限前に成約した場合はお申し込みを早めに締め切ることがございますので、あしからずご了承ください。

2023年2月17日

共催セミナーは、おかげさまでお申し込み規定数に達しました。
大変恐縮ですが、新規のお申し込みは控えさせていただきます。
あしからずご了承ください。

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 展示募集要項

1. 募集小間数

8 小間

2. 小間仕様

サイズ：横 1800mm×奥行 600mm×高さ 2100mm

(最大で横 2 小間までの連結可能)

椅子あり、白布あり、AC100V 電源、Wi-Fi 使用可、
照度不足の場合はボード上部にライトを設置予定

3. 展示場所

Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 4 階

〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-40

4. 出展料

資料・機器等展示 50,000 円 (税別) /小間

5. 出展料総額

¥400,000 (税別、目標 ¥300,000-)

6. 申込方法

所定の申込書に必要事項をご記入の上、運営事務局あてにお申し込み下さい。

7. 申込書送付先

第 30 回日本免疫学会学術年会事務局宛

8. 申込期限

2023 年 2 月 17 日 (金) より **2023 年 7 月 21 日 (金) まで**

※申込期限前に募集小間数に達した場合は、お申し込みを締め切ることがございます。

9. 小間位置

申し込み後の調整となります。ご了承ください。

※各出展者の小間位置は、出展物の種類、小間数等を考慮し主催者が決定いたします。出展者はこの決定に異議を申し立てできません。

※出展者が主催者の許可なく小間の全部あるいは一部の譲渡や交換を行う事はできません。

10. 出展者の特典

学術年会参加証 2 名分を提供いたします。また、幕間映写広告を特価 (¥10,000) でご利用できます。

11. 出展の取消

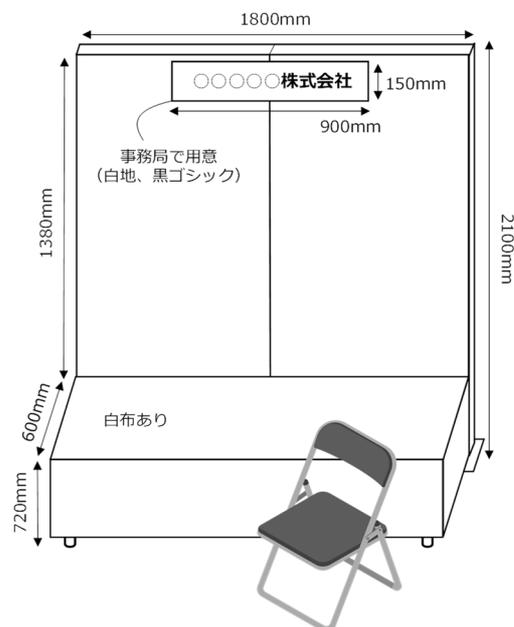
出展者は原則として出展を取り消すことはできません。

12. 変更・中止

主催者は不可抗力、またはやむを得ない事由により、本展示会の開催期間および開催時間の変更、または開催の中止などを行う場合もあります。中止の場合、出展料は返金いたしますが、出展者側でそれまでに要した費用は各社の負担となります。

13. 出展物の管理

出展物の管理は各出展者が責任を負うものとし、盗難、紛失、損傷について主催者は保証を含めた一切の責任を負いかねますので、各社にて保険に加入するなどの措置をお取りください。また出展者の行為により事故が発生した場合は、当該出展者の責任において解決するものとし、主催者はこれに一切の責任を負いません。



書式 I

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 申込書

本申込書（書式 I）と、該当する書類（複数のお申し込みも可能です）とにご記入の上 FAX または E-mail でお送りください。

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 事務局宛

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 寄付・広告・共催セミナー・企業展示申込書

申込種別 寄付 広告 共催セミナー 企業展示

（該当するに全てチェックをお願いいたします）

【寄付】 _____ 万円

小計 _____ 万円

【広告】	<input type="checkbox"/> 裏表紙	全頁	4 万円	<input type="checkbox"/> バナー広告	3 万円
	<input type="checkbox"/> 表紙裏	全頁	3 万円	<input type="checkbox"/> 幕間映写広告	1 万円（企業展示出展者）
	<input type="checkbox"/> 裏表紙裏	全頁	2.5 万円	<input type="checkbox"/> 幕間映写広告	4 万円（上記以外）
	<input type="checkbox"/> 後付	全頁	2 万円	<input type="checkbox"/> しおり広告	5 万円
	<input type="checkbox"/> 後付	半頁	1 万円		
	<input type="checkbox"/> 綴込み	任意	5 万円		

小計 _____ 万円

【共催セミナー】 23 万円

小計 _____ 万円

【企業展示】 小間スペース 5 万円

小計 _____ 万円

総額 _____ 万円

抄録集掲載貴社、貴法人名： _____

書式Ⅱ

FAX : 044-270-6627

E-mail : jsit2023@nihs.go.jp

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会
事務局宛

寄 付 金 申 込 書

第30回日本免疫毒性学会学術年会

寄付・広告担当副理事長 小島 弘幸殿

第30回日本免疫毒性学会学術年会の目的、事業に賛同し、その運営資金として下記の金額を寄付します。

20 年 月 日

個人の場合 氏 名 : _____

法人の場合 法人名 : _____

代表者 : _____

担当者 : _____

住所 : 〒 _____

電 話 : _____ FAX : _____

E-mail : _____

記

金額 : _____ 円

書式Ⅲ

FAX : 044-270-6627

E-mail : jsit2023@nihs.go.jp

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会

事務局宛

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会広告掲載申込書

20 年 月 日

貴社名				
責任者	役職		ご氏名	
ご住所	〒			
部署				
ご担当者				
TEL/FAX	TEL		FAX	
E-mail				

広告掲載のご希望枠に、○印をお付けください。

抄録集広告		単価 (税別)	仕様	募集社数
裏表紙	1 頁	¥ 40,000	カラー	1 社
表紙裏	1 頁	¥ 30,000	カラー	1 社
裏表紙裏	1 頁	¥ 25,000	カラー	1 社
後付	1 頁	¥ 20,000	白黒	4 社
後付	1/2 頁	¥ 10,000	白黒	8 社
綴込み	1 枚	¥ 50,000	カラー	1 社
ホームページ (HP) バナー広告		単価 (税別)	仕様	募集社数
HP バナー	1 バナー	¥ 30,000	カラー	5 社
しおり広告		単価 (税別)	仕様	募集社数
ウラ面	148mm×50mm	¥ 50,000	カラー	1 社
幕間映写広告		単価 (税別)	仕様	募集社数
企業展示出展者	15 秒	¥ 10,000	16 : 9 自動映写	8 社
上記以外	15 秒	¥ 40,000	16 : 9 自動映写	

書式IV

FAX : 044-270-6627

E-mail : jsit2023@nihs.go.jp

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会

事務局宛

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会ランチョンセミナー共催申込書

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会

寄付・広告担当副理事長 小島 弘幸 殿

当社は、第 30 回日本免疫毒性学会学術年会にランチョンセミナー共催を申し込みます。

20 年 月 日

ご住所 : _____

貴社名 : _____

責任者 ご氏名 : _____

ご担当者・役職 : _____

電話番号 _____

FAX 番号 _____

E-mail _____

書式V

FAX : 044-270-6627

E-mail : jsit2023@nihs.go.jp

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会

事務局宛

申込締切：2023 年 7 月 21 日

第 30 回日本免疫毒性学会学術年会企業展示申込書

20 年 月 日

貴社名	
責任者	役職 ご氏名
ご担当者名	
ご担当部署	
ご住所	(〒)
T E L	
F A X	
E-mail	
申込小間数	小 間
使用電力等	100V× 個 ※必要コンセント数をご記入ください。コンセント数には限りがありますのでご承知おきください。
展示台	必要 ・ 不要 (※いずれかに○をお付けください)
展示品	

共通

【お振込口座】

銀行名：ゆうちょ銀行（銀行コード：9900）
記号・番号：（記号）10980（番号）35949751
店名：〇九八（ゼロキュウハチ）
店番：098
口座番号：3594975
預金種目：普通預金
口座名：日本免疫毒性学会（ニッポンメンエキドクセイガツカイ）

【情報公開について】

本学会では、各社が本学会に要した費用（共催費、出展費、広告費等）に関して、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインに関する指針」及び日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、各社がウェブサイト等にて情報公開することに同意いたします。

なお、これをもちまして、原則として別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、予めご了承ください。

【その他】

本学術年会では、免疫毒性学の発展や社会への貢献を意図した年会の主旨にご賛同いただける企業や団体、個人等からの寄付・広告・出展を広く募集しております。ただし、出展等のお申込み内容が本趣意書において定めた主旨を逸脱している場合、事務局の判断にて出展等をお断りさせていただく場合がございます。上記あしからずご了承ください。

なお、要旨集に賛助企業名を掲示できるのは、2023年7月21日（金）までにお申込みの方のみとなります。それ以降にお申込みいただいた方は、会場内やHP上での掲示のみとさせていただきます。

【お問合せ先】

第30回日本免疫毒性学会学術年会事務局
〒210-9501 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26
国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部
TEL：044-270-6626 FAX：044-270-6627
E-mail：jsit2023@nihs.go.jp
担当事務局：田中 庸一（国立医薬品食品衛生研究所 主任研究官）

【更新履歴】

2023/02/13 初版作成
2023/02/17 試験法ワークショップ、共催セミナーの更新
2023/04/24 予定項目の確定、注意事項の更新
2023/06/26 演題名の修正、広告募集期間の延長
2023/07/18 広告等の募集期間終了の案内